■これまでの経緯

上尾市と伊奈町では、現ごみ処理施設の老朽化により新施設の検討が 急務となっています。

平成30年度には、処理の効率化などを目的に、上尾市と伊奈町のごみ処理施設をひとつにまとめて整備する方針を決定しました。

新たなごみ広域処理施設の整備を担当する上尾伊奈資源循環組合は、 令和5年度の設立以来、施設の基本的な方向性を定める施設整備基本構 想を策定し、現在はより具体的な内容を定めるための施設整備基本計画 の策定を進めています。

■処理対象物

	可燃ごみ
	不燃ごみ
	紙類・布類
雅	ペットボトル
たな	ビン
(1)	飲料缶・スプレー缶
新たなごみ広域処理施	プラスチック類
规	牛乳パック
理施	小型家電
以	蛍光管・水銀計・電球
	廃乾電池
	ライター
	粗大ごみ

【プラスチック類】

温室効果ガスの削減のため、

- ・プラスチック製容器包装
- (登マークのあるプラスチック)
- それ以外のプラスチック
- (2 マークのないプラスチック)
- をどちらも資源化します。

※分別・収集方法は、今後、上尾市と 伊奈町が決定します。



■稼働開始までのスケジュール(案)

	R7 (2025)	R8 来 (2026)	R9 (2027)	再 来 年 (202		RII 4 (2029) 後	RI2 5 (2030) _後	RI3 6 (203I) _後	RI4 7 (2032) _後	RI5 ⁸ (2033) _後
【上尾市】西貝塚環境センター	延命化工事	延命化完了	稼働30年	稼働3	年	稼働32年	稼働33年	稼働34年	稼働35年	稼働停止
【伊奈町】クリーンセンター	延命化完了	稼働37年	稼働38年	稼働3	9年	稼働40年	稼働41年	稼働42年	稼働43年	稼働停止
新たなごみ広域処理施設	基本計画策定	都市計画決定	用地取	用地取得		設計・建設工事				稼働開始
利によらの内外及生地設	圣平山画泉足	事業者選定			双目 、定议上字				13 13 1十 入口	

(仮称)上尾伊奈ごみ広域処理施設整備事業の概要

■施設諸元 (案)

施設名称	(仮称)上尾伊奈ごみ広域処理施設 ※正式名称は今後検討				
敷地面積	約7ha				
主要施設	管理棟 可燃ごみ処理施設 不燃・粗大ごみ処理施設 資源物処理施設 ストックヤード(一時保管場所)	受付日 ・時間	原則、月~金 8:30~ 6:30		
施設規模	可燃ごみ処理施設:180トン/日(24h) ※現市町合計:345トン/日 不燃・粗大ごみ処理施設:27.9トン/日(5h) ※現市町合計:95トン/日 資源物処理施設:44.6トン/日(5h) ※現市町合計:14.9トン/日				
可燃ごみ処理方式	ストーカ式焼却方式 …可動する火格子(ストーカ)の上にごみを供給し、火格子の下から 空気を吹き込みながら燃焼する方式です。				

■配置図(案) 4つの基本方針(コンセプト) 有効活用スペース ①環境にやさしい施設 通常時:広場・公園機能 災害時:災害廃棄物仮置場 ②安全、安心で、安定した施設 その他:緩衝緑地機能 ③地域に貢献し、住民に親しまれる施設 車両待機動線 4経済性に優れた施設 収集車と一般持込車を 別車線化し、 I50m以上×2車線 =300m以上 ■ 上尾市収集車の主要ルート 伊奈町収集車の主要ルート 住宅、事業所等 可燃ごみ処理施設 不燃・粗大ごみ処理施設 資源物処理施設 ストックヤード 管理棟 渡り廊下 駐車場 原市沼川沿いの自然環境や 将来の河川拡幅、架空電線に 調整池 配慮し、建築物等は極力設置 しない。 都市計画道路上尾伊奈線

■公害防止基準(案)

		自主基準値	法令等規制值	
排ガス	ばいじん	0.01g/m3N以下	0.08g/m3N以下	
	硫黄酸化物	20ppm以下	K値9.0 (=約1,400ppm以下)	
(煙突高	窒素酸化物	50ppm以下	I80ppm以下	
大高 59	塩化水素	20ppm以下	I 23ppm以下	
m)	ダイオキシン類	0.Ing-TEQ/m3N以下	Ing-TEQ/m3N以下	
	水銀	30 μg/m3N以下	30 μg/m3N以下	
騒音		騒音 騒音規制法の規制値以下		
振動		振動規制法の規制値以下	振動規制法の規制値以下	
悪臭		悪臭防止法の規制値以下	悪臭防止法の規制値以下	
	排水	公共下水道接続:国、町の下水道排除基準を遵守		

- ※運転状況はモニター表示などにより積極的に情報公開します。
- ※施設内の負圧管理や吸気口の適切配置により、飛散物質の漏洩を防止します。

FAX: 048-658-9472 HP: https://www.aisj.or.jp

■主要な機能(案)

	主な内容、方向性				
土木・建築	・地盤状況や水害歴などを考慮し ・安全性や防犯性などを考慮し、 ・景観や自然環境に配慮して植栽 ・周辺住民、住宅等に配慮してが ・事故を防ぐ安全かつ分かりやす ・自然エネルギーを積極的に採用	適切に敷地境界を施工 战等を施工 西設配置を検討 「い動線			
プラント(工場) 設備	'				
防災機能	村震性等の確保 注提供				
環境学習機能	・子供だけでなく大人も学べる学習機能 ・見学者受入のための会議室				
市民・町民が 利用できる施設	・広場・公園機能 ・まだ使える粗大ごみ等の提供 ・EV車充電設備	【問い合わせ先】			